

# 受講ガイダンス①

## (編入転入生)



大阪府立大阪わかば高等学校

これから受講ガイダンスをはじめます。  
あらためまして合格おめでとうございます。  
今から30分程度説明をしていきます。  
少し難しい内容ですが、みなさん自身の時間割を作成する上で大切な内容なので、しっかり聞いてください。  
よろしくお願いします。



## 配付資料を確認します

1. 受講の手引き
2. 科目シラバス
3. 科目選択表(2枚)
4. 前籍校の単位修得証明書
5. パワーポイントのコピー
6. 当面の日程

※不足の場合は、近くの担当まで申し出てください。

2

### 配付資料を確認しましょう

1. 受講の手引き 時間割の作り方や授業の受け方などに関するルールが書いてます。
2. 科目シラバス 各授業の内容が書いてあります。
3. 科目選択表(2枚) 担当者と相談しながら、自分で考えた時間割を記入する用紙です。
4. 前籍校の単位修得証明書 前籍校でどれだけ単位を修得・履修したかがわかります。
5. パワーポイントのコピー、これから流れるスライドのコピーです。メモ代わりに使ってください。
6. 当面の日程 次回の登校日から授業開始までの予定をまとめています。確認しておいてください。



## 本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割の作成
4. 今後の予定について

本日はこの4点にわけて話をすすめていきます。  
まずは「学校のシステム」についてです。



## 学校のシステム

# 大阪わかば高校の特色

●受講の手引き 4ページ

時 間 割	自分の <b>時間割を自分で作成</b> します（年度当初に1年分）。卒業までの受講計画を立てる必要があります。
授 業	年次・所属クラスに関係なく、同じ科目を受講登録した生徒と一緒に受けます。
授業教室	受講科目ごとに指定された教室に移動して受けます。
学校生活	<b>二学期制（前・後期制）</b> で授業が行われ、自分の時間割をもとにして個人単位で行動できます。
進 級	学年はないので、進級・留年はありません。卒業に必要な在籍年数、科目、単位数、その他の条件を満たせば卒業です。

大阪わかば高校には、決められた時間割がありません。

自分自身で、卒業までの計画をたてて時間割を作っていく必要があるため、このようなガイダンスをしています。



学校のシステム

## 卒業の要件

●受講の手引き 8～11ページ

1. 高等学校に3年以上在籍する
2. 必履修科目を履修する
3. 74単位以上を修得する
4. 「総合的な探究の時間」を3単位以上履修する
5. 特別活動に60時間以上参加する

高校を卒業するには、決められた要件があります。

1. 高等学校に3年以上在籍する。
2. 必履修科目を履修する。
3. 74単位以上を修得する。
4. 総合的な探究の時間を3単位以上履修する。
5. 特別活動に60時間以上参加する。

この中で何もしなくてもクリアできるのは1番だけです。

学校にきて授業に出席・参加すれば2番4番5番はクリアできます。

3番は授業に出席して、なおかつ学習を積み重ねなければクリアできません。

“履修”や“単位”など聞きなれない言葉があると思いますが、このあと、説明がありますので、ご安心ください。



## 本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割の作成
4. 今後の予定について

さきほど単位という言葉がでてきましたが、単位をとっていく流れやコツを説明していきます。


 単位修得の流れ

## そもそも単位って？

授業時間をもとに**学習の量を数値化**したものです。

基本	週1時間 ×	1年	1単位
大阪わかば (I・II部)	週2時間 ×	半年	1単位
	週4時間 ×	半年	2単位

前・後期制なので半年で単位認定 = **1週間の時間は倍！**

単位とは授業時間をもとに学習の量を数値化したものです。

基本的には週1時間で1年間学習する量を1単位とといいます。

大阪わかばの場合は前後期制で、半年で単位認定されるので週2時間、半年間学習することで1単位となります。

大阪わかば高校には週2時間と週4時間の授業があるということを覚えておいてください。

**単位修得の流れ**  
**大阪わかばでとれる単位** ●受講の手引き 5ページ

時間割で確認していきましょう！

		月	火	水	木	金
I部 9単位	1限	A群	B群	C群	A群	B群
	2限	A群	B群	C群	A群	B群
	3限	D群	E群	SHR 総合 LHR	D群	E群
	4限	D群	E群	SHR 総合 LHR	D群	E群
	昼休み					
II部 9単位	5限	F群	G群	H群	F群	G群
	6限	F群	G群	H群	F群	G群
	7限	I群	J群		I群	J群
	8限	I群	J群		I群	J群

前・後期制  
 2限連続  
 50分×2時間  
 授業  
 週2時間  
 or  
 週4時間

時間割を見ていきましょう。

午前(1限～4限)をI部、午後(5限～8限)をII部とよんでいます。

基本的に合格した部を中心に受講をしていきます。

ほかにも特徴的なのが、50分×2時間の授業です。授業と授業の間に休憩があります。この2時間のセットを群と呼んでいます。

月曜日・木曜日、火曜日・金曜日では同一科目で週4時間。水曜日は週2時間授業が進みます。

曜日のどちらかを出席すればよいということではなく、週に4時間すすむということなので、1週間休むと大変です。

**単位修得の流れ**  
**大阪わかばでとれる単位** ●受講の手引き 5ページ

時間割で確認していきましょう！

		月	火	水	木	金
I部 9単位	1限	2 単位	2 単位	1 単位	A群	B群
	2限					
	3限	2 単位	2 単位	SHR 総合 LHR	D群	E群
	4限					
昼休み						
II部 9単位	5限	2 単位	2 単位	1 単位	F群	G群
	6限					
	7限	2 単位	2 単位		I群	J群
	8限					

前・後期制

2限連続  
50分×2時間  
授業

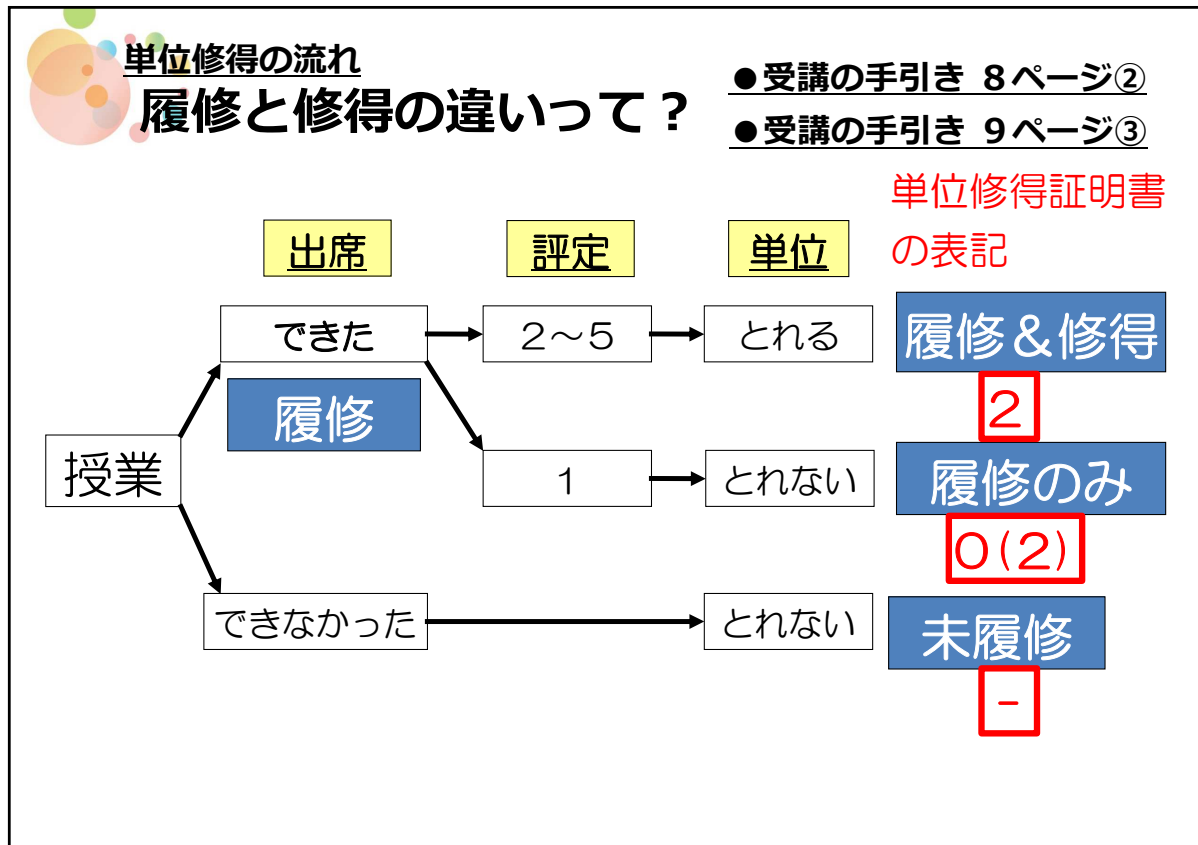
週2時間  
or  
週4時間

単位数に換算するとこのようになります。

そして前後期制なのでこれが年間に2種類となります。つまり前期と後期で時間割が変わります。

今回の受講登録では1年分の時間割を決めます。

来年の2月～3月ごろに、来年度の1年間分の時間割を決めます。



では、どうすれば単位が“とれる”ようになるのかという点。

第一に、授業に出席できたか、できなかったかというポイントがあります。

規定の回数以上出席した場合、評価が1～5でつきます。評価が2～5の場合、単位がとれます。これを修得といいます。

1の場合、単位はとれませんが一定量学習したということで履修という状態になります。

授業に出席できなかった場合は単位はとれません。これは、学習していないということで未履修という状態になります。

一部の奨学金や大学、あるいは専門学校への推薦入試などで評価平均が一定以上必要な場合があります。あとから平均をあげるのは大変なので、推薦入試などを予定している人は高い評価をめざしましょう。

## 前籍校の単位修得証明書で確認

成績証明・単位修得証明書（多制単位制1部・2部）  
大阪府立大わかば高等学校

氏名 **天坂 花子** 性別 **女** 学籍の記録 △△立 △△立 高等学校

生年月日 **昭和・平成 47 西暦 00 年 00 月 00 日** 生

科目	第1 学年						第2 学年		修得単位数の計
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
言語文化	3	2						2	
古典探究			1	(4)					
論理国語									

この「成績証明・単位修得証明書」の記載事項は事実と相違ありません。  
 学校名 **△△立 △△立 高等学校** 令和6年 00 月 00 日  
 〒 **000-0000** **0000** **0000** **0000** **0000** TEL **00-0000-0000**  
 代表者 **わかば 一郎** 校長 **なにわ 太郎**

また、前籍校で修得した単位については、お配りしている単位修得証明書でご確認ください。

詳しい見方は後で説明しますが、まず右上をご覧ください。

この部分に「新」か「旧」と書いてあります。

「新」と書いてある人は2022年4月以降に高校に入学した方です。これを新カリ生といいます。

「旧」と書いてある人は2022年3月までに高校に入学していた方です。これを旧カリ生と呼びます。

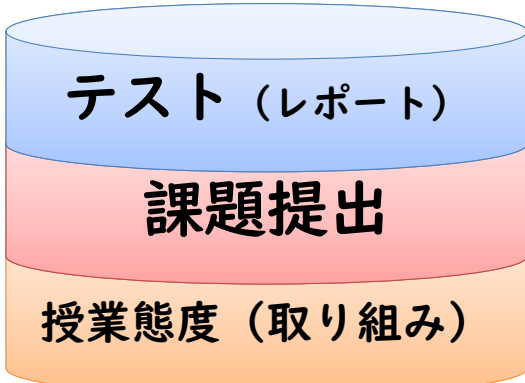
時間割の組み方が少し変わってきますので、自分が新カリ生なのか、旧カリ生なのか確認してください。

単位修得証明書の詳しい見方は後半で説明します。

**単位修得の流れ**  
**履修と修得の違いって？**

学習の成果によって1～5段階の成績 (=評定) がつきます。評価の方法は科目によって違います！

〔一例〕



すべて合わせた「総合評価」になります  
 つまりテストだけでいてもダメ！！

さてその評定とはどのようなものかということ、学習の成果によって1～5の5段階の成績がつきます。これを評定といいます。

科目によって異なりますが、授業の取り組み、提出物、試験などを「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」という3つの観点にわけて、総合評価をします。

なので、テストだけでいても高い評価はつきません。まずは、授業に積極的に参加しましょう。

評価の方法は科目シラバスにかかれていますので、よく読んでください。

単位修得の流れ

## 必履修科目って？

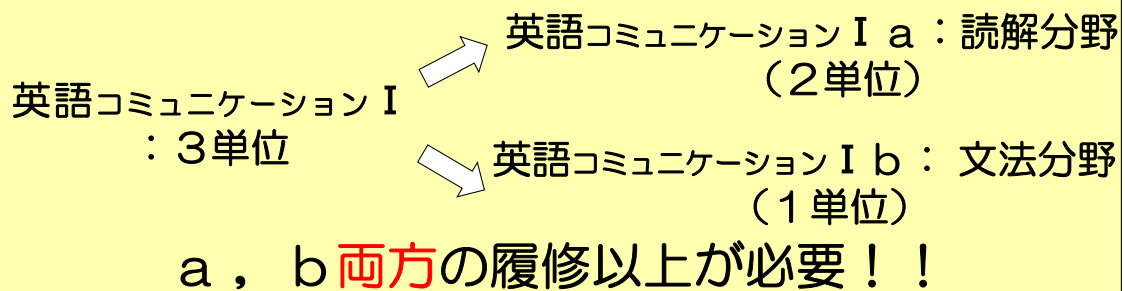
● 受講の手引き 29 ページ

卒業までに履修認定を受けなければいけない科目  
また、**上位科目**を受講するのに必要な科目

(例) 地理歴史科 ⇒ 地理総合 2 単位

歴史総合 2 単位 履修が必要

必履修科目で a , b が付いている科目



卒業の要件に必履修科目の履修とありましたが、必履修科目とは卒業までに必ず履修しなければならない科目のことです。

手引きの29ページをみてください。必履修科目は、

地理歴史では、地理総合 2 単位、歴史総合 2 単位

外国語科では英語コミュニケーション I を 3 単位など、各教科によって定められています。

しかし大阪わかば高校では4単位や3単位の授業はないので、分けて履修する必要があります。

これを分割履修とよんでおり、たとえば英語コミュニケーション I のように a , b と設定されている教科・科目が対象です。

### 単位修得の流れ

## 上位科目を修得しよう！

基本的に好きな科目を選択することができますが、学習する順序が決まっている科目があります。

英語C I



英語C II



英語C III

中国語①



中国語②

現代の国語



言語文化



古典探究



まずは、必履修科目から履修しよう！

基本的には好きな授業をとってもらえばよいのですが、学習の順序が決まっているものがあります。

科目名で分かる場合の例として数字のついた講座はⅠ→Ⅱ→Ⅲや①→②と、受ける順番が決まっています。

大学受験等で必要な場合は、計画的に履修するようにしましょう。また、現代の国語と言語文化のあとに古典探究のように、科目名ではわからない場合もありますので、受講の条件は科目シラバスをよく読んで、確認してください。

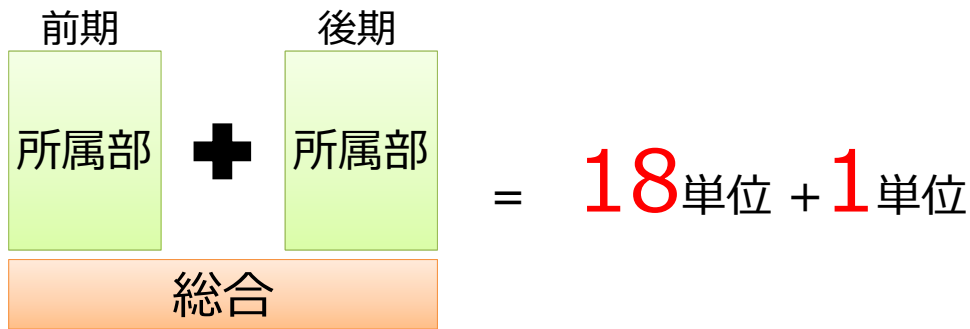
基本的には必履修科目からとるようにしましょう。

## 単位修得の流れ

### 単位の上限ってあるの？

I 部 半期 最大 **9** 単位  
or のみの場合

II 部 年間 最大 **18** 単位 + 総合 **1** 単位



★ (学) と付いている科目は、受講できる単位数が決まっています。注意してください。

単位をどれだけとることができるかというと、

I 部（II 部）のみでは半期で9単位、年間では18単位とれます。

それに加えて前期・後期の通年で総合を1単位とることができます。

卒業のためには74単位以上必要なので、前籍校で何単位修得しているかによって、


わかば高校でどれだけ単位数を修得しなければならないのかが変わります。

単位修得のコツ ★

**はやく卒業するには？** ●受講の手引き27ページ

その① **併修制度**を利用できます。

併修とは、**他部**や**通信制**の授業を登録することができる制度です。



前期		後期		
所属部		所属部		
他部	+	他部	=	28単位 + 1単位
通信制		通信制		まで可能！
総合				

できるだけ早く卒業をめざしている人もいますが、その人たちは併修制度を利用しましょう。

他部や通信制の授業を登録して受講することができる制度です。これを利用すれば総合的な探究の時間を含めて年間29単位まで受講することができます。

登録できる単位数については、受講の手引き27ページで確認してください。

単位修得のコツ  
通信制併修のポイント

●受講の手引き ★  
16・17ページ

通信制は年間で**12**単位まで登録ができます。  
※評価方法が I・II 部とは異なります

スクーリング  
少なめ!  
決められた回数出席  
テスト  
レポート  
メイン

通信制は半期で6単位、1年間で12単位まで登録ができますが、評価方法が I・II 部と異なります

学校に出席して、授業を受ける「スクーリング」は少なめですが、その代わりに家庭学習としてレポートを作成し、テストを受験する必要があります。

レポートがどのようなものか見てみたい人は後ほどご相談ください。ちなみに、レポートは教科によって異なりますが、教科書の穴埋め問題や自分の意見をまとめるなどいろいろあります。



単位修得のコツ

はやく卒業するには？

●受講の手引き18ページ



その② **土曜講座** を登録することもできます。

半期に1単位ずつ登録することができます。

※ 評価方法はI・II部と同じ

講座名 (前期・後期のいずれかで開講予定)	時間帯
やさしい中国語	10:55～12:40 (3・4限の時間帯)
やさしい韓国・朝鮮語	
やさしいパソコン	

受講希望の人は、受講登録の際に

「土曜講座受講願」を提出してください。

併修制度以外にも土曜講座を登録して受講することもできます。  
半期に1単位ずつ、年間計2単位登録できるので、  
これを利用すれば年間31単位まで受講することができます。  
詳しい講座の内容は科目シラバスをご覧ください。

受講登録の際に「土曜講座受講願」の提出が必要なので、登録を考えている人は担当者に申し出てください。

単位修得のコツ

はやく卒業するには？

●受講の手引き  
19～21ページ



その③ **技能審査・高認**を受験しよう！

技能審査や高校卒業程度認定試験に合格することで  
本校の卒業単位に含めることができます。(要担任相談)

※1 技能審査は入学前に取得したものは無効です。

※2 高認で既に取得済みの科目があれば、

「科目合格証明書」を後日提出してください。



年間の単位認定上限は所属部・併修・土曜講座を合わせ

**36単位**まで可能です！

また、技能審査や高校卒業程度認定試験に合格することで卒業単位に含めることができる制度です。

受験する場合は担任にかならず相談してください。

技能審査に関しては、入学前に取得したものは無効となりますので、ご注意ください。

認定される技能審査などは、受講の手引きで確認してください。

高卒認定試験について、すでに合格済みの科目がある場合は単位認定することができるので、合格証明書を担任に提出してください。



## 本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割の作成
4. 今後の予定について

次は、時間割作成方法についてです。



# 合格者のみなさん

**「科目選択表」と「単位修得証明書」を出してください**

それでは、具体的な時間割作成方法を説明していきます。  
配布資料の中から「科目選択表」と「単位修得証明書」を出してください。

## 編・転入生の単位修得証明書の見方

教科 科目		教科・科目の学習の記録								修得単位数の計
		第1 R3	学年 年度	第2 R4	学年 年度	第2 R5	学年 年度	第2 R6	学年 年度	
		評定	単位	評定	単位	評定	単位	評定	単位	
国 語	現代の国語	3	2							2
	言語文化			1	(2)	-	-	-	-	
	(学)基礎国語			-	-	-	-	-	-	

- ・「-」が書かれているものは未履修。
- ・「評定」が2以上の科目は単位修得していることになります。
- ・「(2)」と書かれているものは、履修はしているが未修得で、2単位の科目だということがわかります。

まずはじめに、前籍校発行の単位修得証明書をご覧ください。  
この証明書の見方を説明します。

バーがかかっているものは未履修をあらわしています。

2～5の評定があるものは単位が修得できています。

その科目に関しては再びとることはできません。しかし必履修科目で2単位必要ですが、1単位しか修得していないなどの場合は除きます。

未履修のバーがついているものや、評定が1の場合は再度同一科目を受講することができます。

いずれにしても、残りの必履修科目を先に登録してください。

必履修を最後までこのしている場合は卒業が難しくなる場合がありますので、優先的に受講するようにしましょう。



# 「科目選択表」

2026(令和8)年度  
編転生用 科目選択表

在籍すべき期間		前科在籍年数		令和8(2026)年度										受験番号		生徒番号		備考			
年	月	年	年	前期		後期		通信/選択		総合		申込		合計		旧籍	新籍	名前	学年		
前科	後科	前科	後科	1期	2期	1期	2期	1期	2期	1期	2期	1期	2期	X+Y+Z+U	1	2	姓	名	1	2	
前科	後科	前科	後科	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数

卒業後の進路		本人携帯		保護者携帯(自宅電話番号)	
1	2	1	2	1	2

**受験番号と名前を確認の上  
以下の4か所をみれなく記入してください**

- 受験番号 ● 名前
- 本人携帯 ● 保護者携帯(自宅電話番号)

※“卒業後の進路”は「大学」「専門学校」「就職」など、現時点での希望があれば記入してください。

まずは、科目選択表の右上にある「受験番号」「名前」と中央にある「本人携帯」「保護者携帯(自宅電話番号)」の4か所を鉛筆でもれなく記入してください。

携帯番号(連絡先)は、第一希望以外の講座に受講変更が発生した場合に学校から連絡する時に使用します。

また、「卒業後の進路」は「大学」「専門学校」「就職」など現時点での希望があれば記入しておいてください。

この科目選択表は2枚とも同じ内容を記入してください。



では、この「科目選択表」のうち1枚を今から回収します。

## I部合格生の方へ・・・

### ライフスタイルに応じた時間割（例）

★卒業までの年数にこだわらず、じっくり勉強したい

→ I部のみ登録 午後は自分の時間に活用できる

	月	火	水	木	金
1限	公共 2単位	科学と 人間生活 2単位	数学Ⅰβ 1単位	公共	科学と 人間生活
2限					
3限	美術Ⅰ 2単位	体育a 2単位	SHR 総合 LHR	美術Ⅰ	体育a
4限					
昼休み					
5限					
6限					
7限					
8限					

25

時間割を考える上では、どのように学校に通いたいかを考えることから始めてください。

I部生は 基本午前中の4時間で授業が終わります。午後は、アルバイト・勉強・学校外での活動等に活用できます。

ライフスタイルに応じた時間割（例）

★午後の授業も少し受けてみたい…!?

→ I部 + II部を登録 半期で11単位



	月	火	水	木	金
1限	公共 2単位	科学と 人間生活 2単位	数学Ⅰβ 1単位	公共	科学と 人間生活
2限					
3限	美術Ⅰ 2単位	体育a 2単位	SHR 総合 LHR	美術Ⅰ	体育a
4限					
昼休み					
5限		英語CⅠa 2単位			英語CⅠa
6限					
7限					
8限					

26

時間割を作るうえで、もう一つ考えていただきたいことは、高校をあと何年で卒業するかということです。


教員と相談しながら、卒業までに必要な単位数を逆算して、II部の授業を登録するか考えましょう。

例のように、II部の一講座だけを登録することもできます。

**ライフスタイルに応じた時間割（例）**

★通信制を使いたい。  
→ I 部 + I 部通信併修


通信を登録する（例）



通信を登録しない（例）

	月	火	水	木	金
1限	公共 2単位	科学と 人間生活 2単位	数学 I β 1単位	公共	科学と 人間生活
2限					
3限	美術 I 2単位	体育a 2単位	SHR 総合 LHR	美術 I	体育a
4限					

	水
1限	基礎国語 2単位
2限	地理総合 3単位
3・4限	SHR 総合 LHR



通信開講科目の単位を修得していると、その科目は登録できないので注意！

編入・転入生は通信制の学習を併用することも可能です。

たとえば、I 部（1限～4限）のみでこのような時間割を登録したとします。

通信制の授業は（水）の1・2限（c群）と5・6限（H群）の時間を利用して行います。

この例の場合ですと、(水)の1・2限のc群は半期で1単位修得できるのに対して、通信の場合は5単位修得することが可能です。

★

高校を3年で卒業する場合の単位修得のコツ

**ここまでのまとめ** ●受講の手引き27ページ

● I部生の場合

期間	本校で登録・認定可能な単位数上限					合計	技能審査・高認による認定単位を含めた上限
	I部	併修			通年総合		
		II部	通信制	土曜講座			
半期	9単位	6単位	6単位	1単位	※	15単位 土曜講座を含めると 16単位	18単位
年間	18単位	10単位	12単位	2単位	1単位	29単位 土曜講座を含めると 31単位	36単位
	28単位						

ここまでのまとめです。

I部合格生は午前中の4時間で半期9単位の修得ができます。

II部の授業を最大半期で6単位、修得できます。

ライフスタイルに応じた時間割（例）

★高校を早く卒業したい！けど・・・

→ I部 + II部のみ登録



	月	火	水	木	金
1限	公共 2単位	科学と 人間生活 2単位	数学Ⅰβ 1単位	公共	科学と 人間生活
2限					
3限	美術Ⅰ 2単位	体育a 2単位	SHR 総合 LHR	美術Ⅰ	体育a
4限					
昼休み					
5限	家庭基礎 2単位	英語CⅠa 2単位	国語基礎 1単位	家庭基礎	英語CⅠa
6限					
7限	言語文化 2単位	保健① 体育甲 2単位		言語文化	保健① 体育甲
8限					

29

I部生の方がII部の講座を併修するときには制限があることを意識しておいてください。

そうすると、この申込はダメなパターンだということが分かると思います。

この申込では、併修であるII部の講座を9単位分申し込んでいます。I部生の方がII部で申込みする上限単位数は半期で6単位までです。

上限を超えての申込はできないので、この申込はダメなパターンとなります。

★

高校を3年で卒業する場合の単位修得のコツ

**ここまでのまとめ** ● 受講の手引き27ページ

● I部生の場合

期間	本校で登録・認定可能な単位数上限					合計	技能審査・高認による認定単位を含めた上限
	I部	併修		土曜講座	通年総合		
		II部	通信制				
半期	9単位	6単位	6単位	1単位	※	15単位 土曜講座を含めると 16単位	18単位
年間	18単位	10単位	12単位	2単位	1単位	29単位 土曜講座を含めると 31単位	36単位
	28単位						

I部合格生の方はI部の授業9単位をどの科目にするかを考えること。そのあとは、どのような高校生活をおくるのかに応じてII部を併修する。また、通信制の授業を含めることもふまえて、受講登録をすることを考えましょう。

ただし、最後に忘れてはいけないことがあります。それは、必ず「保健」を登録し、履修することです。

これは、文部科学省から決められていることで、高校入学年度と次の年度にわけて、1単位ずつ計2単位の履修が必要です。



## 「科目選択表」の記入方法 ● 受講の手引き 2 2 ページ

鉛筆 or  
シャープペンシル  
で記入すること

「全員」の欄から選ぶ

対象	後期 A群 月12 木12	後期 B群 火12 金12	後期 C群 水12	後期 D群 月34 木34	後期 E群 火34 金34
古典 探究b	○	高校数学 入門	国語基礎	論理 国語a	現代の 国語 必
歴史総合 必	生物基礎	2	国際社会	日本史 探究b	世界史 探究b 3
数学Ⅱb ①通	体育a	必	数学Ⅰb	数学B	地理 探究b ①旧
化学②	音楽Ⅰ	○	数学Ⅰβ	化学基礎	数学C
体育b	英語CⅡb	①	数学Ⅲ②	生物b	地学基礎
高校英語 入門	手芸基礎	①	音楽演習	物理②	音楽Ⅱ
韓国・朝鮮語 を話そう	情報 処理b	英語CⅠβ	必	保健①月 体育甲木	美術Ⅱ ①
情報基礎		イングリッシュ /リテ	必	体育乙月 保健乙木	書道Ⅱ 2
		こどもの 成長と遊び ①	必	保健①月 保健乙木	中国語①
		C技術a	必	音楽演習	家庭基礎 必

### ① 授業の時間帯を選ぶ

例：A群の授業を選ぶ ⇒(月)・(木)の1・2時間目が授業時間帯

### ② “第1希望→○”

第1希望の科目が網かけの場合は、  
“第2希望→2”と記入する

32

では、科目選択表の記入方法です。①受験番号②名前③本人携帯④保護者携帯を記入しましたか？

科目を選ぶ前に、科目選択表の右上にある何年で卒業するつもりなのかを自分の希望する年数に○をつけてください。

希望に合わせた受講のアドバイスがしやすくなります。

皆さんは、「全員」が対象となっている欄から科目を選んでください。「多言語生」と書かれている科目は皆さんは選択できません。

I部生は原則、前期と後期のA群からE群を記入します。

各群において第1希望が網掛けになっている科目には必ず第2希望まで書くようにしてください。

希望者多数の場合は第2希望になる可能性があります。

第1希望は○、第2希望は2と記入してください。

個別の質問は周囲の教員にお尋ねください。

記入の時間はあとで設けますので、説明を続けます。

## 前籍校で使用していた教科書

家で、写真を撮ってきてください。  
同じ名前の教科書もあるので、  
出版社、教科書番号、教科書名等が  
見えるように写真を撮ること。



言語文化  
新編  
数研出版

33

前の学校で使っていた教科書・副読本・問題集等があれば、すべて写真を撮ってきてください。

同じものを持っていれば、教科書を買わなくてもよいこともあります。

同じ名前の教科書がたくさんあるので、出版社、教科書番号、教科書名などがよく見えるように写真をとってください。

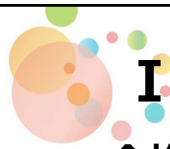
どれかわからない、なくしたかもしれないという場合は買ってもらいます。



## 本日の内容

1. 学校のシステム
2. 単位修得の流れとコツ
3. 時間割の作成
4. 今後の予定について

最後に今後の予定について連絡します。



## I・II部 受講登録までの流れ

- 合格者受講ガイダンス① 【本日】  
「時間割の決め方」
- 受講ガイダンス② 3月27日(金)  
「時間割の決定」 10:00~12:00  
ガイダンス終了後「体操服の採寸」
- 受講登録 3月30日(月)  
「時間割の登録」  
※登校時間は次回の受講ガイダンス②で連絡します



**3月31日(午後)は学校から連絡が入る場合があります。  
いつでも電話に出られるようにしておいてください。**

35

3月27日に第2回ガイダンスがあります。

この日は時間割の決定を行います。書類の提出などもあり、ゼロから考える時間はありません。必ずお家で考えてきて、書類も完成させてきてください。

3月30日の受講登録は決定した時間割に基づいて担当者と最終決定を行いながら、教科書・副読本の購入票を渡します。個別にパソコンを使って行います。3月30日の登校する時間帯は、3月27日に配付します。予定ではありますが、3月30日の登校は午前中を予定しています。

両日とも保護者の方の同伴は必須ではありませんが、来て頂いてもかまいません。

また、欠席されますと、登録が後回しになり、受講できる科目に制限がかかる場合もあります。受講登録が終わらないと、授業を受けることができません。必ず登校して手続きをおこなってください。



**次回は3月27日 10:00集合です**

次回までに

**科目選択表を完成**

させてきてください。

できていないと27日の帰る時間が遅くなってしまいます。

36

次回は3月27日金曜日、10:00に集合です。

集合場所は玄関に受験番号を貼りだしておきます。

確認して決まった教室に行ってください。

次回は書類の提出があります。提出書類つづりの内容をよく読んで、書いてきてください。

証明写真も4枚必要です。

次回までに科目選択表を完成させてきてください。

27日に時間割を1から考えると、帰る時間がとても遅くなってしまいます。

時間割の作り方がよくわからないという人は、この後相談してください。



**次回は3月27日 10:00集合です**

27日は教室の移動ができません。

友だちと時間割を合わせたい場合は  
27日までに相談して  
決めておいてください。

37

27日は各教室に分かれてしまうと、教室移動ができません。

友だちと同じ授業を取りたい場合は、27日の集合時間までに相談して決めておいてください。



## このあとの予定

- 時間割作成の“勘どころ”がつかめたら終了です。

個別相談→北館2階の視聴覚教室

奨学金の手続き→中央館2階の進路指導室

※場所が分からない場合は、近くの教員に申し出てください。

38

説明は以上です。

なお、個別相談は北館2階の視聴覚教室、奨学金関係の手続きは中央館2階の進路指導室で行っています。

時間割の作り方の勘所がつかめましたら、終了です。

個別相談や奨学金に関して、希望があれば、各自で所定の場所へ移動してください。

場所が分からない場合は、近くの教員に申し出てください。

今回は・・・

3月27日(金)10:00～



### 次回の持ち物

- ☆筆記用具
- ☆提出書類一式
- ☆証明写真（4枚）
- ☆科目シラバス・受講の手引き・科目選択表
- ☆体操服の代金
- ☆キャリアパスポート

39

再度、確認します。

今回は3月27日金曜日、10時集合です。

持ち物は筆記用具、提出書類一式、証明写真4枚、科目シラバス、受講の手引き、科目選択表、購入する分の体操服の代金です。持っている人はキャリアパスポートも持ってきてください。

これで第一回受講ガイダンスは終了します。個別の質問は周囲の教員にお尋ねください。